

# 戦争と平和についてのおはなし会 ～道下小学校～

令和2年7月27日(月)に、魚津市立道下小学校6年生を対象として「戦争と平和のおはなし会」を開催しました。

実際に起きた出来事の時系列に合わせて、まずはじめに、富山大空襲を体験した方のお話を元に「おはなしを楽しむ会」さんが作られた紙芝居を読み聞かせてもらいました。



戦時中の格好に身を包んだ

朗読ボランティアさんに

読み聞かせてもらいました。

次に、8月6日、9日に広島・長崎に投下された原子爆弾のことを学ぶためにDVD『被爆の爪跡』を視聴しました。



**DVD を視聴することで  
映像を通してより深く  
原爆の被害の恐ろしさを学ぶことが  
できました。**

原爆で亡くなった家族について書かれた佐藤智子さんの原爆詩、長崎で実際に被爆者を看護した親族の体験談など戦争に関わるおはなしを静かに聞きました。



**心のこもった朗読に  
全員が引き込まれました。**



**実際に起こった**

**生々しい戦争のお話。**

**しっかりとボランティアさん**

**見つめて聴きました。**

最後に、参加者全員で原爆詩を朗読してから、  
原爆や戦争で亡くなられた方のご冥福と世界の平和を祈って黙とうをささげました。



**栗栖英雄 作 「弟」を**

**全員で朗読しました。**



実際に戦時中に使われたものや  
沖縄戦の資料を  
近くで見ました。

